

第75回

社会を明るくする運動特集



更生保護

きつあおたこ

現在、杵築日出警察署では、安全・安心な杵築地区の実現に向けて、昼夜を問わず警ら等を通じた防犯活動、犯罪捜査、交通取締り等を積極的に行っているところです。県下の治安情勢は、昨年（令和6年）における刑法犯認知件数は3,442件と、前年比449件の増加となりました。平成16年以降、令和4年まで減少傾向でありましたが、令和5年、令和6年と年々増加

第36号

令和7年7月1日 発行

〈編集〉

杵築・大田地区更保連編集委員会

〈発行〉

杵築市社明運動推進本部

杵築・大田地区更生保護連絡協議会

〈事務局〉

藤本治郎 杵築市城山 Tel.62-3126



杵築日出警察署
署長

得本誠良

「社会を明るくする運動」 強化月間に寄せて

7月は、「社会を明るくする運動」の強化月間・再犯防止啓発月間です。

犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生・立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的として、昭和26年に始まった全国運動です。

まず、長年にわたり社会を明るくする運動の中心的役割を担つてこられた保護司会の皆様をはじめ、更生保護活動にご尽力いただきております。関係各位の方々に敬意を表します。

現在、杵築日出警察署では、安全・安心な杵築地区の実現に向けて、昼夜を問わず警ら等を通じた防犯活動、犯罪捜査、交通取締り等を積極的に行っているところです。県下の治安情勢は、昨年（令和6年）における刑法犯認知件数は3,442件と、前年比449件の増加となりました。平成16年以降、令和4年まで減少傾向でありましたが、令和5年、令和6年と年々増加

要因は、コロナ禍が明け、人々の経済活動の活発化に伴い、窃盗、詐欺などの増加がありました。その

また、杵築日出警察署管内における昨年（令和6年）の特殊詐欺被害は19件で被害額は約2,900万円、SNS型投資・ロマンス詐欺被害は、20件で被害額は約9,000万円でした。県下の、昨年の特殊詐欺被害額は約7億3,600万円、SNS型投資・ロマンス詐欺被害額は16億円以上に上っているところです。最近の手口としては、電話番号が「+（プラス）」で始まる国際電話による詐欺電話や、警察署・警察官を騙つた「二セ警察官」による現金確認、保証金等々を要求するケースが多数発生しております。



啓発活動 JR杵築駅前

生しています。またSNSにより、恋愛感情に乗じた投資詐話や、副業詐欺などの詐欺被害も多数発生しています。

犯罪や非行をなくすためには、ご自宅や自転車などの確実な鍵掛けや、騙されないことで、まずは自分が被害者にならないことが大切です。被害者にならないことで、犯罪者や非行少年を生まないことです。

犯罪や非行の背景には、社会からの孤立や孤独など、社会生活における様々な生きづらさが存在していることもあります。安全で安心な街づくりにおいては、他人への思いやりや、寄り添う気持ちを基本として、人と人が支え合うことが極めて重要だと考えます。これらは警察だけで実現できることではなく、家庭・学校・地域・行政等の各関係機関・団体との連携と協力が欠かせません。立ち直ろうとする人を社会で受け入れていくことや、犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりをすることが大変重要だと思います。

私たち杵築日出警察署員は、地域の皆様と連携を密にして、犯罪や非行のない安全・安心な「住みよいまち杵築」を実現するために、これからも努力していきますので、引き続き、地域の皆様の御支援、御協力の程よろしくお願ひ致します。

身近な犯罪

杵築市立豊洋小学校5年

有り 広寿 斗と

ぼくが考える身近な犯罪は、万引き、いじめ、ぎやくたいです。その中で、今回は、万引きについていろいろ調べてみました。万引きは、日本一発生が多い犯罪です。

まず、万引きをする人にはどういう人がいるのか気になつたので、調べてみました。すると、男性が五十から六十才、女性が五六十代までと、中高年が多いといふことがわかりました。なぜしてしまったのかを調べたところ、将来のお金のことが不安になることで、万引きをしてしまうことが多いことがわかりました。

あと、中学生高校生のことも調べてみました。中高生が万引きをしてしまうのは、「スリルを味わいたいから」、「周りがやっている人が多いようでした。

次に、万引きの再犯率についてですが、八割以上が二年内に再犯するみたいです。万引きのことを見つめながら、小さな犯罪のように思つていて、何度も多いかもせんが、再犯率が八割以上あるということは、一度やつたらくせになつてなかなかやめられない恐ろしい犯罪だと

今度は万引きをされたお店について調べきましたが、

物としては、本、ざつし、CD、DVD、ざつか、アクセサリー、食品などが多いそうです。全国の万引き被害総額は、一日あたり約二億六千四十万円、年間では約四千六百十五億円とされています。万引きは「知らぬ間に盗まれた」というケースが多いため、万引きが多いと経営が成り立たず、「万引き倒産」ということもあるそうです。

調べていると、いろいろなことがわかりました。そして、万引きについて、自分なりに考えてみましたが。自分ももう少しで中学生です。中学生高校生になつて、周りの友達、先輩に流されて万引きをしないよう強い心を持ちたいと思いました。なぜそう思つたかと云うと、万引きをやつてしまつたからです。親にも迷惑をかけるし、友達やいろいろな人にさけられるようになつたりします。

このことを考えずに迷惑行為をして動画を流す人もいれば考えすぎて万引きをしてしまう人もいる。「犯罪」という一言でまとめられ思いました。なぜそつたかと云うと、万引きをやつてしまつたからです。親にも迷惑をかけないことは、「家族に迷惑をかけない」。

「人としてやつてはいけないことではない」という二つのことであります。そして、将来のお金のことが心配で万引きをしてしまう人がいなくなくなるような、年をとつても安い心してくらせ明るい日本になります。

差別はどうやつたらなくなるのか

杵築市立大内小学校6年

福田 雅

皆さんには差別という言葉を知っていますか。差別とは人をマイナス

で親に何千万円もの借金を背負わせることになるなんて、後悔してもしきれないと思います。そして、親といつしょに自分もずっと借金を背負わなければならぬのであります。だから、ぼくは絶対に万引きをするのは中高年の人が多いということを書きました。その人たちには、将来のことが心配で「なるべく自分の金は取つておきたい。使いたくない」という気持ちから万引きをしてしまうようでした。先のことを考えずに迷惑行為をして動画を流す人もいれば考えすぎて万引きをしてしまう人もいる。「犯罪」という一言でまとめられて万引きをしてしまつたかどりません。

これらのこと調べて学んだことは、「家族に迷惑をかけない」ことは、「人としてやつてはいけないことではない」という二つのことであります。そして、将来のお金のことが心配で万引きをしてしまう人がいなくなくなるような、年をとつても安い心してくらせ明るい日本になります。

この差別というのは、最近始まっています。小学校、中学校、高校、大学、学校だけではなく社会でも差別されます。でも聞いてくれませんでした。ぼくは服装などで差別されることがありました。注意はしましたが、注意してほしいです。

差別や、いやがらせは良くない所がありますが、結果としてどちらも罪を犯したこと違います。差別される人へのしつとや憎しみがあるから起きたりすることがあります。それは、差別される人へのしつとや憎しみがあるから起きたりすることがあります。これが差別やいじめの引き金となるのです。中には差別やいじめにたえきれず自殺する人がいます。多くの人が一人にいやがならない理由は、何なのでしょうか。それは、差別される人へのしつとや憎しみがあるから起きたりすることがあります。これが差別やいじめの引き金となるのです。中には差別やいじめにたえきれず自殺する人がいます。ぼくは学校で差別やいじめのようなものを見たことがあります。多くの人が一人にいやがられない理由は、分かりませんでしたが、それを見ていると、とてもいやな気持ちになり差別やいじめは、やめてほしくないと心の底から思つたのを今まで見えていました。

みなさんは、加害者や犯罪者と犯罪を犯した人が加害者や犯罪者と呼ばれるのをテレビなどで見たことがあります。これは人が罪を犯した時に、その人に対する使う言葉です。何かの罪を犯した人が加害者や犯罪者と呼ばれるのを見たことがあります。これは人が罪を犯した時に、その人に対する使う言葉です。何かの

もいれば、中には反省していない人もいます。だからこそ、ひとまとめに悪い人と決めつけてしまうのも何かちがうような気がします。この罪を犯した人が、この先、どのように行動するかと一緒に考えたり見守つたりすることができるのでしょうか。罪を犯したとしても、罪を受け、反省して、再び同じ過ちを犯さない努力をすることが大切です。しかし、この犯罪者を許さない人もいるでしょう。人々の中には、犯罪を犯した人を許すことができない人は多いと思います。また、悪いことをした人には、悪い言葉で文句を言つてもよいだろうという世の中の悪い流れもあります。だからぼくは、その人が何かしら行動を変えようとしていたら、許せなくとも、その行動や発言に対して耳をかたむける必要があると思います。そして、これは学校でも同じで悪いことをしてしまった人を、もうあの人は悪いと決めつけるのではなく、その人その後の言葉や行動に向きあうことが大切だと感じます。

作文コンテスト参加作品募集

法務省の主唱する第75回社会を明るくする運動の作文を募集します。要項は、左記のとおりです。一人で多くの参加をお願いします。

* 応募資格＝全国の小中学生
* テーマ＝「社会を明るくする運動」の趣旨を踏まえ、日常の家庭生活・学校生活の中で体験したことに基づいて、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて考えたこと、感じたことを題材にしたもの。

* 原稿枚数 4百字詰め 3~5枚
* 締め切り 本年9月6日必着
* 提出先・問い合わせ
大田地区更生保護連絡

務局 藤本治郎
090(3600)9779



錦江橋のひまわり花壇

会員の異動

杵築・大田地区更生保護連絡協議会

ひまわり花壇 錦江橋のひまわり花壇をご存じでしようか。以前は錦江橋の南側と北側にあつたのですが、数年前の橋の架け替えで南側のみになりました。40メートルの細長い花壇です。あれは、私たち杵築の保護司9名と更生保護女性会30人のメンバーが、お世話しています。1週間ずつ2人組で水やり、草取り、花柄つみなどをしてきれいな状態を保てるよう頑張っています。年に2回、植え替えをして季節の花が見られるように工夫もしています。花を見たら、嫌なことや不安なことも少しは和らげてくれるのではないかでしようか。

車で通る時、信号待ちの時、ちらつと見てください。きっと花から元気をもらえると思います。「きれいに咲いてるねえ」と声をかけてもらえるのは、私たちにとつてもやりがいです。暑い日も寒い日もしつかりお世話を続けていきたいと思いません。「杵築のなごみスポット」になるよ



杵築・大田地区更生保護連絡協議会
保護司 工藤 まり子